

2025 年度 日本都市学会第 4 回理事会議報告

(2026 年 7 月 28 日修正)

2025 年度第 4 回理事会は、2026 年 3 月 22 日（日）13 時 30 分から対面（於：名古屋都市センター）とオンラインで開催されました。出席者は、山崎健会長、磯部友彦、井澤知旦、児玉浩嗣、阿部亮吾（以上対面出席）、増田聡、土居洋平、久隆浩、根田克彦、田中晃代、豊田哲也、石川雄一、山下宋利、野村理恵、松本行真、西野淑美、川瀬正樹、車相龍（以上オンライン出席）の各理事、および大塚俊幸（オブザーバー、対面出席）です。議事の概要は次の通りです。

■議題 1 2025 年度事業報告案および決算報告見直し

本部事務局より、2025 年度事業報告案および 2025 年度決算見直しについて報告がありました。未精算分もあるため、2026 年度第 1 回理事会にて報告予定です。

■議題 2 2026 年度事業計画案および予算案

本部事務局より、2026 年度事業計画案および 2026 年度予算案について報告がありました。また、8 月に会長選挙が予定されている旨説明がありました。

■議題 3 学会賞事務局からの報告

中四国都市学会より、2026 年度学会賞・論文賞について、外国語著作賞はエントリーがなかったこと、その他の賞は募集中であることなどが報告されました。その他の賞は 4 月末日を〆切とし、5 月以降の選考スケジュールについて確認がありました。

■議題 4 年報事務局からの報告

関東都市学会より、年報 59 号の編集状況について報告がありました。年報 59 号はタイトルを「スポーツとまちづくりーする・観る・支えるの 3 つの観点からー」とし、必要な資料収集を行っているところであると説明がありました。また、年報 51 号～57 号の PDF 化ならびに年報 48 号～57 号の J-stage 新規登録作業の進捗が報告されました。7 月発行（予定）の『日本都市学会ニュース』No.62 のなかで、J-stage への査読付論文の電子公開に関するお知らせ記事を掲載する方向である旨確認されました。また、今後冊子体発行後の即時電子化を行うのかどうか、また将来的に冊子体を残すのかどうかについて議論が交わされ、継続的な検討事項である旨確認されました。

■議題 5 論文審査事務局からの報告

九州都市学会より、2025 年度論文審査について報告がありました。投稿数 31 本（昨年度より 13 本増）で、査読付き論文については第 1 回審査がすべて終了し、23 本が修正待ち、

7本が再判定待ち、1本が再提出待ちとなっていることが報告されました。また2026年度論文審査について、論文投稿締切りを例年通り11月末とすることが確認されました。なお、査読者から投稿者の情報に関するマスキングについての意見が出され、論文審査委員会で投稿者の所属と氏名の記載はなし、とすることが確認されました。また、査読者2名の意見が著しく乖離した場合の調整方法について、今後論文審査委員会内で検討予定である旨も報告がありました。

■議題6 第72回大会報告

九州都市学会より、昨秋佐賀市で開催された日本都市学会第72回大会についての概要および収支決算について報告がありました。大会参加者はシンポジウムのみも含めて102人、エクスカージョンで27人との報告がありました。

■議題7 第73回大会について

中四国都市学会より、日本都市学会第73回大会案について報告がありました。大会テーマを「水辺に調和した都市リノベーション」とし、10月23日（金）～25日（日）にかけて徳島市の徳島大学常三島キャンパスを会場に開催します。

■議題8 その他

日本都市学会に対して、日本学術会議会員予定者の候補者の推薦依頼について説明があり、今回は候補者の推薦を見送る旨報告がありました。